

論理演算子 || (OR)

- ・左右のオペランドがfalseの場合はfalse,それ以外はtrueを返す
- ・オペランドがBooleanでない場合、評価のためにBooleanに変換する
例えば 数値1はtrue , 数値0はfalse となる(truthy,falsy)

【ORは最初の“真値”を探す】 <JavaScriptの特別な機能>

- ・左から右にオペランドを評価
- ・オペランドを Boolean に変換し、結果 true であれば停止、オペランド本来の値を返す
- ・すべてのオペランドが false の場合、最後のオペランドの値を返す

つまり、

|| は最初に true となる値を返し、それが無い場合は最後の値を返す

論理演算子 &&(AND)

- ・左右のオペランドがtrueの場合はtrue,それ以外はfalseを返す
- ・オペランドがBooleanでない場合、評価のためにBooleanに変換する
例えば 数値1はtrue , 数値0はfalse となる(truthy,falsy)

【ANDは最初の“偽値”を探す】 <JavaScriptの特別な機能>

- ・左から右にオペランドを評価
- ・オペランドを Boolean に変換し、結果 false であれば停止、オペランド本来の値を返す
- ・すべてのオペランドが true の場合、最後のオペランドの値を返す

つまり、

&& は最初に false となる値を返し、それが無い場合は最後の値を返す

論理演算子の使い方

||(OR) , &&(AND)

1, 条件処理

2, 条件分岐の省略

論理演算子 || の左側がtrueと評価できるときは左側の値、
そうでなければ、右側の値を返す

* 論理演算子は必ずBoolean値を返すわけではなく、
2つのオペランドの内一方の値を返す